

GIGAスクールの 途中経過について



榛野 博
議員



コロナの影響で事業開始が早められたGIGAスクールが導入されてから、約2年半が経過し、端末を活用して進められる学習は、従来の学校現場に、どのような変化をもたらしたのか、実際の教員や児童生徒、保護者から寄せられた意見を基に現時点での状況を伺います。

また、GIGAスクールを進めていく上で、本市は学習支援ソフトを導入していますが、このソフトを導入したことで、最も児童生徒に対して効果的であった取り組みは何か伺います。

○学務指導担当部長

変化については、端末を使った授業では、付箋機能を活用して児童生徒の考えを教室の大型モニターや一人一人の端末画面へ一斉に映し、学級全体で共有することで、自分と同じ考えの人や、他の人の考えなど、クラス全員の意見

を集約し、容易に知ることができるようになりました。

また、その場で調べ学習を行う、植物や動物の成長の様子を写真に撮って観察する、跳び箱運動やマット運動で自分の技を録画し、後で自分の体の動きを見て技を修正するといったように、端末の機能を生かした授業が展開されています。

導入した学習支援ソフトには、さまざまな機能がありますが、児童生徒の視点に立つと、AI型ドリルソフトが効果的であったのではないかと捉えています。

GIGAスクール
児童生徒が学習者用端末(タブレット)を活用した学習



GIGAスクール (イメージ)

健幸プロジェクトの 更なる推進を



鈴木 一利
議員



本市では現在、「健幸プロジェクト」として五つの重点プロジェクトを展開していますが、その中でも「健康をめぐむまちプロジェクト」が市民にとって、一番結びつきやすいと感じます。そこで、この健幸プロジェクトでの新規事業への反映について伺います。

そして、健やかで幸せな暮らしを送る大切な健康寿命の延伸のための事業である、带状疱疹ワクチン接種の助成とアピアランスケア事業(ウィッグや乳房補正具等の助成や心理的サポート)を、健幸プロジェクトとして位置付けての事業実施について伺います。

○総合政策部長

第2次春日部市総合振興計画後期基本計画においては、健幸プロジェクトに限らず常時事業の見直しを行ってまいります。必要な新規事業については追加しており、健幸プロ

ジェクトの推進に資する事業であれば、新たに位置付けもしていきます。

また、新たに健幸プロジェクトに位置付けられた事業や、その他の新規事業については、実施計画の見直し時に実施計画書へも反映をしていきます。

○健康保険部長

带状疱疹ワクチン接種の助成やアピアランスケア事業の実施については、早期の実現を目指していきたいと考えています。

このほか

○「奨学金変換支援制度」について

ゼロカーボンシティ 推進に向けて



奥沢 裕介
議員



長年の課題の一つとして、

CO2排出を主な原因とする地球温暖化問題があります。

この課題に関しては、CO2の排出量を減らしつつ、大気中のCO2を吸収することによって、CO2の排出量を実質ゼロとすることを目指すゼロカーボンシティを推進し

めていくことは喫緊の課題です。何の対策も施さなければ、近年起きた被害をも上回る恐ろしい災害が、今後多発していくことは明白であります。

ゼロカーボンシティの実現と、子どもたちへの教育環境について、本市として、今後どのように推進していくのか、市長の考えを伺います。

○市長

ゼロカーボンシティ実現に向けては、ゼロカーボンシティ推進本部により、引き続き、市民、行政とさまざまな分野の事業者が連携しながら取り組んでいきます。また、今後の社会の担い手となる子どもたちには、さまざまな環境問題とそれを解決すべきことについて理解を深めてもらうことが大変重要と考えています。子どもたち一人一人が自分のできることで向き合い、環境に優しい行動を実践していくためのきっかけを提供し、それをさらに、大人の方へつなげていただければと考えています。そのため、小・中学校および義務教育学校への太陽光発電や蓄電池の導入などを契機に、さらに一歩進んだ環境教育を教育委員会と連携して推進していきます。

大沼陸上競技場の リニューアルについて



永田 飛鳳
議員

大沼陸上競技場リニューアルに関して、整備後は、芝のサッカーグラウンドとしても利用が可能ということですが、市長は、自身の選挙公約の中で「芝のサッカーグラウンドを整備」と、うたっています。

今回の大沼陸上競技場のリニューアルは、選挙公約の「芝のサッカーグラウンドを整備」の代替なのでしょう。それとも、その選挙公約とは全く別で、他にも芝のサッカーグラウンドを整備する予定はあるのでしょうか、市長に伺います。

市長 ○ 未来を担う春日部の子どもたちも含め、より多くの皆さまがグラウンドゴルフ、陸上競技、サッカー、運動会など、多様なスポーツ・レクリエーション活動を楽しむための環境を整備したいという思いを強く持っています。

しかし、春日部市総合体育施設整備基本計画は、中長期的な計画となり、総合体育施設の本格的な整備着手、完成には一定期間を要することとなります。

このようなことを踏まえ、大沼陸上競技場のリニューアルを、いち早く着実に進めることで、スポーツ・レクリエーションの活性化を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さまの健康増進につなげていきたいと考えています。

このほか
○ 学校施設の一般開放について

北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一
議員

区画整理事業地内には、人が隠れてしまう程の雑草が火災や犯罪の発生を大変心配しています。防犯や防災面での問題や、雑草の中への不法投棄も目立つようになってきました。ご存じのように本事業地は広大な面積であり、組合

員の方々だけの管理には限界があると思います。

そこで、市内には地域貢献活動を行っている事業所や、さまざまなボランティア団体があり、私もボランティア団体で活動を行っています。仲間に北春日部の雑草の話をしたところ、「できることならやらせていただきたい」と言ってくれています。

そのような市民の力を借りる方策について、本市で何らかの支援ができないものか、本市の考えを伺います。

○ 都市整備部長

本事業地については、組合において管理されていることから、事業地内の雑草の対策についても、組合に対応していただいています。

ボランティア団体の活用については、事業費の軽減にも効果的であることから、雑草対策として有効な方策の一つであると考えています。

今後においては、組合と情報共有を図りながら対応していきたいと考えています。

このほか

○ 新庁舎の窓口環境の充実に
ついて

○ 春日部市公共施設マネジメ
ント基本計画の進捗について

(新) 中央町第1公園 整備について



木村 圭一
議員

(新) 中央町第1公園整備予定となる(旧)市庁舎跡地は、土地が低く道路冠水した経緯があることから、公園下に雨水貯留施設の整備をしながら、その雨水を利用して、公園内へ供給する水としての利活用はできないでしょうか。

また、本市の中心的公園となることから、衛生的にも配慮できるトレーラー型トイレを設置することで、大規模修繕が必要となる場合でも、トレーラー交換するだけで簡単に衛生的修繕が行えると思いますが、本市としては、どのように考えるのか。

さらに、パークPFI方式を利用して公園整備することで、民間活力が期待されるが、本市としての考えを伺います。

○ 建設部長

雨水の再利用や主に災害時に役立つトイレトレーラーの導入については、有効な取り組みの一つであると認識して

います。

(新) 中央町第1公園の整備に当たっては、公園利用者ニーズの視点に加えて、地域の課題解決の視点も含め、さまざまな事例を研究していきたいと考えています。

公園整備の手法については、民間事業者への調査結果などによって、民間活力導入の優位性が見出された場合、改定を進める基本計画に位置付け、積極的に活用を検討していきたいと考えています。

このほか

○ 長寿を祝う会について

○ 老朽化施設について



トイレトレーラー (イメージ)

春日部市における
ラーケーション制度について



会田 吉幸
議員



令和5年9月より、名古屋
市を除く愛知県内の各自治体
において、ラーケーション制
度が始まりました。大分県別
府市でも同様な制度を拝見し
ました。この制度は、年3日
までは子どもが学校を休んで
も欠席扱いとはしない制度で
す。そこで、以下伺います。

①ラーケーション制度の概要
及び利点・課題について②春
日部市での導入予定について

○学務指導担当部長

①ラーケーション制度は子ど
もと保護者が学校ではできな
い体験や学びの活動を一緒に
計画し、届出をすることで、
学校は欠席扱いとせず、年に
3日までラーケーションの日
を取得できる制度です。

平日が休みとなる保護者に
とっては、欠席を気にせず、
学校ではできない体験や学び
の活動がしやすくなるという
利点があると考えています。
しかし、欠席扱いにならなく

ても、その日の授業について
自分で学習しなければならな
いことや、学校行事などの日
に取得する子どもが多いと、
教育活動に支障が出るといっ
た課題があると考えています。

○教育長

②本市では、入試における欠
席の扱いなどを考慮すると、
愛知県のように県単位で実施
することが望ましいと考えて
います。制度の実施状況や、
その成果・課題などを研究し
ていきたいと考えています。

このほか

○庄和総合公園の管理につい
て



ラーケーション制度 (イメージ)

本市における
これからの
公共交通について



大里 昇
議員



現在、「2024年問題」
を控え、交通網の維持が難し
く、各自治体が運営する公共
交通の中で業務量を減らし効
率化を図るのか、利便性を維
持するか、運営に課題を抱え
た自治体が増えてきています。
本市においても「第四次春バ
ス運行」が新庁舎の開庁と同
時にスタートします。

そこで、以下伺います。

①春バスの運行ルートが、6
ルートから3ルートになった
経緯と運行経路について

②庄和地域で行うタクシー補
助制度(春タク)実証実験の
内容について

○都市整備部長

①第三次運行では交通空白地
域への最低限の交通サービス
を確保するよう6ルートで運
行し、その結果、利用者が少
ない停留所が多くあることや、
多くのルートで所要時間が長
く便数が少ないこと、公費負
担率が高いことなどの課題を

抱えていました。第四次運行
では、駅を中心としたルート
や、駅などの拠点間を結ぶル
ートである3つのルートへの
集約を行い、運行の効率化、
所要時間の短縮と便数の増加
を図っています。②庄和地域
内で、交通が不便な地域に住
む75歳以上の高齢者や妊産婦
の移動手段を確保するため、
タクシー運賃の一部を補助す
る取り組みです。利用できる
タクシー事業者は、個人タク
シーを除く市内3事業者です。

このほか

○市内の公共トイレ整備と利
便性について

米Cityかすかべ
「米粉実証実験」の
経過と展望について



山口 剛一
議員



平成21年から農林水産省の
「支援交付金」を活用して、
本格的な米粉用米の生産に取
り組んだ「八郎潟の埋立」で
有名な秋田県大潟村に行政視
察に伺いました。事業総額は
約12億5000万円、うち交
付金額は約6億2500万円
で耕作面積は平成21年には2

00ha、平成25年には70
0haに拡大する計画でした
が、現在では10haでした。
重要な反省点として「出口戦
略不足」があげられています。
都市近郊にある本市は大潟
村と比べて、消費者、事業者
ともに恵まれており「出口戦
略次第」では大いに可能性が
ある事業だと思えますが、今
年度の取り組み状況、今後の
展望について伺います。

○環境経済部長

今年度の取り組みは、新た
な試みとして、「笑みたわわ」
の実証実験に着手しました。
また、地産地消料理教室の開
催や市内飲食事業者などを対
象に、試作用米粉提供事業を
実施したほか、小・中学校等
や保育所で給食の活用に向け
た、取り組みを行っています。
今後の展望は、試作希望者
を市外の飲食事業者などにも
拡充するほか、市内の学校給
食での活用に向けた試作品の
開発や、流通過程の仕組みを、
関係者と検討していきます。

このほか

○Next川の再生「水辺de
ベンチャーチャレンジ」の経
過と展望について

○本市の働き方と職場環境に
ついて

市長の給料50%減額終了について



石川 友和
議員



市長の給料50%減額は、選挙公約でコロナが収束するまでの条件付きでしたが、どのような認識のもと給料減額を終了するのか、確認のため以下伺います。

①任期中の4年間は減額だと思っている有権者がほとんどだと思うが、市長の認識について

②ほとんど見ていない公開討論会だけで、市長は有権者全員に選挙前、選挙中に減額期間は伝えたと言いつけるのか
③先日、非課税世帯1世帯当たり7万円の給付が決まったが、この財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金で、収束宣言をしていまずが、いまだに国から、交付金を受け取る認識か伺います。

○市長
①給料の減額期間については、春日部市長選挙公開討論会で、発言をさせていただきました。
②給料の減額期間は、公約に

掲げたチラシのとおり、市長報酬の半分をコロナ対策に割り当てることを記載しており、特に期間を設けたものではありません。また、減額期間については、公開討論会で発言したとおりです。

③新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした事業となっていますが、内容としては、コロナ対策ではなく、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた生活困窮者の負担軽減を図り、直接支援が及ぶよう実施するものです。

ふじ通りの藤の木について



平沢 一博
議員



藤は「春日部市の花」として指定されており、中でもふじ通りの延長約1キロに及ぶ藤の木は街路樹は、街路樹としては日本一の延長で、本市の宝として、健全な状況で保存していくことが重要です。しかし、ふじ通りの木の幹に大きな穴が空いてしまってい

るものやヒビが入ってしまったもの、幹がポロポロのものが目立ちます。

そこで、以下伺います。

①幹にある穴やヒビは、このままで大丈夫なのか②藤の花を摘んでしまっているという声があるが、花を摘むのを止める、もしくは花を摘むのを遅らせることはできないのか
③老朽化していく藤の木について、今後どのように管理していくのか

○建設部長

①穴やヒビは日光や乾燥による影響であると考えられ、また、藤棚の上の枝や葉は元気であることから樹勢には影響していないと判断しているところですが、②花を摘む作業は花が摘みと言われるもので、見頃が過ぎた花を放置すると、木の体力が奪われ、翌年の花芽ができにくくなってしまいます。翌年の花のために、今後も樹木管理の中で実施していきたいと考えています。③木が枯れてしまう前に順次計画的に新しい木へ植え替えをしていきたいと考えています。

このほか

○人権問題について
○本市における英語教育につ

今定例会傍聴状況

合計	18	14	13	11	7	6	12 / 4	30	11 / 27	月日
96	6	6	12	8	28	21	9	2	4	傍聴者数 (人)
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質 疑	上程・説明	主な日程

市議会より市長へ要望書を提出しました

中心市街地まちづくり検討特別委員会において協議を行い、春日部市中央一丁目地区まちづくり方針を担保する地区計画の都市計画決定、市街地再開発事業の都市計画決定要件となる交通計画の策定を令和6年度中に行うよう、12月18日に、議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長・副委員長の4名で市長へ要望書を提出しました。

詳しい内容は
こちらから

